

インカレで初の一勝目指す

八学大女子サッカー部新監督

高見さん、市長訪ね抱負

八戸



熊谷雄一市長(左)に抱負を語る
高見啓太さん(中央)

4月から八戸学院大女子サッカー部の監督に就任した、元ヴァンラーレ八戸選手の高見啓太さん(30)が11日、八戸市の熊谷雄一市長を訪ね、「インカレで初の一勝を目指したい」と抱負を語った。

高見さんは兵庫県出身。2016年にヴァンラーレに加入。6季を八戸で過ごし、チームのJリーグ昇格にも貢献した。

その後は、23年12月に日本フットボールリーグ(JFL)の鈴鹿ポイントゲッターズ(当時)

で現役引退。同じ国士舘大出身で八学大男子サッカー部の岩本寿生監督から誘いを受け、女子サッカー部監督に就いた。

11日は、高見さんと三本木温学長補佐が市庁を訪問。高見さんは「八戸でサッカー選手になる夢をかなえてもらった。今度は逆に自分の経験を伝え、プロを輩出していきたい」と述べ、選手の人間力の向上にも取り組む考えを示した。

熊谷市長は「インカレでの初勝利を期待している。ぜひ頑張ってください」とエールを送った。

(桑田友人)